

# 地域リハビリテーション支援拠点の活用について

川崎市健康福祉局総合リハビリテーション推進センター企画・連携推進課

## 地域リハビリテーションの推進

できないことを代わりにするのではなく、  
できることを増やして、  
いきいきと暮らし続けられるように・・・



地域リハビリテーション支援拠点事業業務・受託事業所

- (1)川崎協同病院
- (2)総合川崎臨港病院
- (3)介護老人保健施設千の風・川崎
- (4)介護老人保健施設樹の丘
- (5)介護老人保健施設たかつ
- (6)老人保健施設レストア川崎
- (7)介護老人保健施設よみうりランドケアセンター
- (8)麻生リハビリ総合病院



3

地域リハビリテーション支援拠点のご案内

(川崎市委託事業)

事業概要

リハビリ専門職が、ケアマネジャーや施設・事業所からの相談に応じ、助言を提供します。

支援内容

- 身体・認知機能や生活環境に関する相談
- 介護サービス・ケアの方法に関する助言
- 医療に関する助言
- 福祉用具・住宅改修に関する助言

新たに認定を受けた方または病院や施設から退院・退所した方を対象として、概ね3か月間程度支援します。

支援方法

- 利用者宅への訪問
- カンファレンスへの出席
- 事業所への訪問

利用手続き

1. 地域リハビリテーション支援・申込書を記入し、FAXかメールで送信
2. 電話により、生活や住まいの状況をもった上で、訪問・カンファレンス等の日程を調整
3. リハビリ専門職が相談に応じながら助言を提供

利用料無料

契約手続き不要

報酬の算定対象

- 介護予防ケアマネジメント
- 介護予防訪問・短時間通所サービス
- 居宅介護サービス・介護予防通所サービス
- 地域リハビリテーション連携加算
- 生活機能向上連携加算(市独自)
- 生活機能向上連携加算(国制度)

申込・問合せ先

拠点事業所名 【所在区】	電話/FAX メール 【電話受付時間: 平日9:00~17:00】	拠点事業所名 【所在区】	電話/FAX メール 【電話受付時間: 平日9:00~17:00】
川崎協同病院 【川崎区】 <small>※居宅介護サービス等の加算は対象外</small>	080-4834-5717/277-9857 kyodo-kyoten@kawaiikyo.or.jp	介護老人保健施設 たかつ 【高津区】	741-3077/741-3008 nose-team4@sounkai.com
総合川崎臨港病院 【川崎区】	080-5670-9683/244-4791 rihakyoten@rinko.or.jp	老人保健施設 レストア川崎 【宮前区】	976-7111/976-6692 rk-chiikirih@restore-k.jp
介護老人保健施設 千の風・川崎 【幸区】	080-2264-6882/511-0466 sen.kaze-tiikirih@kenjin.or.jp	介護老人保健施設 よみうりランドケアセンター 【多摩区】	948-1611/948-1612 yomikyoten@landcare.jp
介護老人保健施設 樹の丘 【高津区】	820-0350/820-1350 kinooka@kawaiikyo.or.jp	麻生リハビリ総合病院 【麻生区】	981-6832/577-7797 info_reha_asaorehabili@souseikai.net

※お近くの拠点事業所であれば、どこでも相談をお受けします。相談内容に応じて、担当する拠点事業所を調整する場合があります。





## 地域リハビリテーション支援拠点と連携した際の加算について

地域リハビリテーション支援拠点と連携した際、加算を算定できる場合があります。

### ○介護予防ケアマネジメント費 地域リハビリテーション連携加算 居宅介護支援事業所と地域包括支援センターが算定可能

単位数：150単位（地域包括支援センター）  
120単位（居宅介護支援事業所）

### ○生活機能向上連携加算

介護サービス事業所（介護予防訪問サービス、介護予防短時間通所サービス、介護予防通所サービス、居宅介護サービス事業所）が算定可能

単位数：100～350単位

7 

## 事例紹介

### 事例1

事例タイトル：変形性膝関節症のため歩行に不安のある独居高齢者

相談者：ケアマネジャー

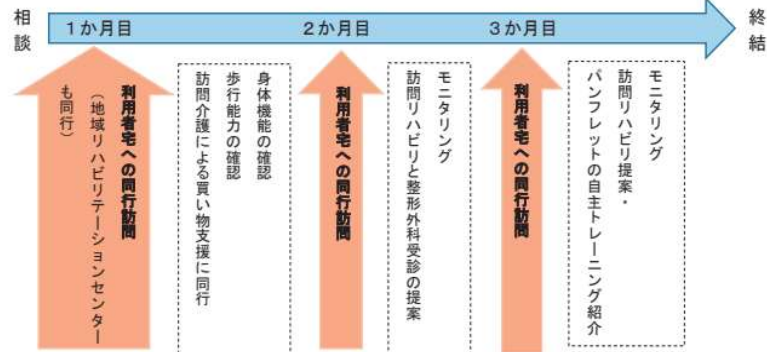
事例概要：80代女性 要介護2

訪問診療と訪問介護、配食サービスを利用。下肢体幹の変形によって布団からの立ち上がりに困難さがあり、階段は後ろ向きで降り、庭は市販の杖をついて歩いている。

相談内容：歩行が安定せずこのままでいいの不安です。歩行の状態や身体機能について助言をしてもらいたい。



支援内容・経過：



- ・変形性膝関節症が重症化しており、痛みや変形がさらに進行する可能性があると思われました。
- ・ご本人には、整形外科の受診や訪問リハビリの導入をお勧めしましたが、消極的な様子だったので、変形性膝関節症の一般的なパンフレットを渡しながら、生活上の留意点や自主トレーニングの方法を紹介しました。
- ・ケアマネジャーには、姿勢の傾向や動作能力の予後予測を説明し、4点杖のレンタルを提案しました。



## 事例2



事例タイトル：退院後の生活支援が必要な認知症高齢者

相談者：地域包括支援センター

事例概要：80代女性 要介護1（区分変更中）

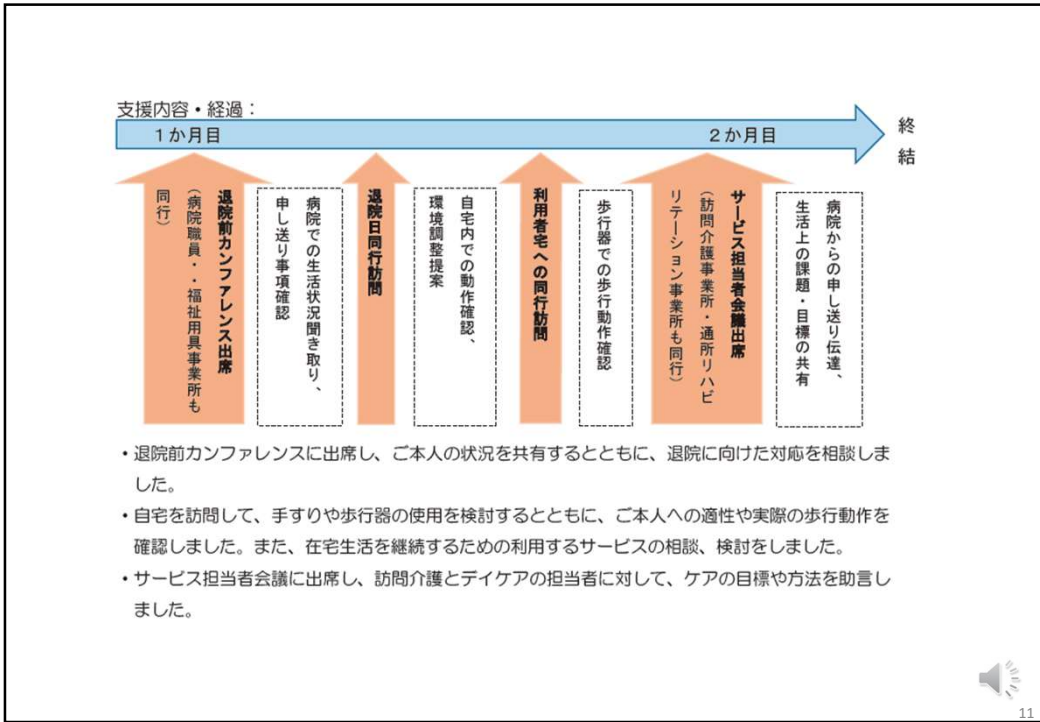
自宅で転倒し、大腿骨頸部骨折により入院している。

歩行器を使用すれば歩行安定しているが、認知機能の低下により、歩行器を忘れてしまうことがある。

娘と同居しているが、娘は就労しており、日中は一人になる。

相談内容：転倒による骨折で入院していますが、認知症の進行も見られます。退院後の生活やサービスについて、助言をお願いしたい。





ホームページのご案内

**地域リハビリテーション支援拠点に関するホームページ**

●川崎市ホームページ(<https://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000130785.html>)

トップページ➡暮らし・手続き➡福祉・介護➡地域包括ケアシステムの構築に向けて

➡地域リハビリテーション支援拠点のご案内

地域リハビリテーション支援拠点

12